



優勝したスクラム帯西のみなさん

とびっく NEWS & REPORT 11 がつ



開会式 選手宣誓

スクラム帯西が4連覇!

第10回「くまもとカップ」

小学生ドッジボール大会

9月9日(日)

熊本市総合体育館・青年会館

この大会は、1997年に男子世界ハンドボール選手権大会が熊本市で開催されたことを記念し、次世代を担う小学生の心身の健全な育成を図ることを目的として、大会翌年から開催されています。

10回目の節目を迎えた今回は、熊本市内で活動している16チーム、小学3年生から6年生までの262名が参加しました。

開会式では、参加選手を代表して、ストロング健軍チームの羽田健吾くんが力強く選手宣誓をし、大会での健闘を誓いました。

試合は、まず、各4チーム、4パートに分かれての5分1セットのリーグ戦を行いました。内野の選手が当たってしまつて跳ね返ったボールを、周りの選手が体を張つて拾いにいたり、運動が苦手な選手にもボールを投げるチャンスを作ってあげたり、随所にチームワークのよいところが見られました。観客席には多くの保護者や友人が詰めかけ、にぎやかな歓声が響いていました。

各パートの上位2チームが決勝トーナメントに進出できるのですが、1人の差で勝敗が分かれ、パート2位以内に入らず、涙をのんだチーム

もありました。

予選リーグ終了後、特別賞の表彰がありました。皆で助け合い、励まし協力していたチームに贈られる「チームワーク賞」は大江ファイターズ、元気がいっぱいブレッシュたチームに贈られる「ハッスル賞」はいなづまハリケーンズが受賞しました。大きな包みに入った賞品を贈られると、歓声をあげていました。

午後からは、8チームによる決勝トーナメント。実力伯仲のチームがそろい、内野の人数の状況がめまぐるしく入れ替わる試合となりました。観客席からは「大きな声を出して」「がんばれ!」と予選リーグのとき以上に熱のこもった応援が行われていました。

準決勝からは5分3セットマッチとなり、選手たちにも少し疲れた様子も見えましたが、勝てば決勝、負ければ3位決定戦になってしまします。特に、準決勝の帯西トルネード対ヒート砂取では、

1人を争う激しい試合となりました。互いに譲らず、今大会唯一の3セット目に突入しました。3セット目も一進一退を繰り返しましたが、最後は帯西トルネードが2人差で勝ち決勝進出を果たしました。



最終結果
優勝 スクラム帯西
準優勝 帯西トルネード
第3位 ヒート砂取

決勝戦は、スクラム帯西対帯西トルネードの同門対決となりました。おとしの大会でも決勝で顔を合わせており、2度目となります。試合前に、帯西トルネードの選手たちが優勝賞品のメダルを眺めながら「一番いい色のメダルが欲しいな」「そのためにはスクラム帯西を倒さなきゃ」と言い、念願の優勝に向けて気合を入れていました。

多くのチームが決勝戦まで残り、試合を見守る中、大会4連覇を目指すスクラム帯西が、第1セット11対6、第2セット10対6、セットカウント2-0で帯西トルネードを下しました。

表彰式では、優勝、準優勝、3位の選手たちひとりひとりにメダルがかけられました。上位に入れたかった選手たちは、次の大会では、「自分たちがメダルを獲得んだ!」という気持ちを新たにしていたようでした。

講評では、熊本県ドッジボール協会の津田理事長が、「10回目という節目を迎えて感慨深いものがあります」とこれまでの大会を振り返られました。

RKKラジオ 環境キャンペーン



HERB-PROJECT

Healthy
Ecology
Recycle
Bit by Bit
(ちよつとづつ)

長いので、短くしてHERB。フツに、「ハーブ」と読んでください。

環境のために
ラジオにできること、
わたしにできること。

私たちRKKラジオは考えました。肩の力を抜いて、手の届くことから、できることから、ちよつとづつ始めよう。環境に配慮する事で自分の心と身体も健康になろう。一人一人のちからは小さなものだけど、みんなであればやがて大きなものになるはず。リスナーのみなさんと一緒に素敵な明日、子ども達に残す未来を作っていきたい。そんなキャンペーンを始めたい。そんなキャンペーンを始めたい。詳しくは、ウェブサイトもご覧ください。

<http://rkk.jp>
RKKラジオ 1197kHz